

学校だより

nizigaoka nizigaoka nizigaoka nizigaoka nizigaoka

令和6年4月9日

川崎市立虹ヶ丘小学校

4月号

虹ヶ丘小学校

ホームページ ⇨



# 虹ヶ丘

[https://kawasaki-edu.jp/2/511\\_nizigaoka/](https://kawasaki-edu.jp/2/511_nizigaoka/)



## 目標をもって、前向きに

校長 井上 恵子

花冷えの新年度の始まりでしたが、登校してきた子どもたちの表情も声も明るくて安心しました。昇降口では、「おはようございます。」「5年生になりました。」「新しい用務員さんですか。よろしくお願いします。」「ねえ、転入生じゃない。」などのはりきった子どもたちの姿がありました。「ぼくは2年生。2年生の傘立てに入れなくちゃ。」と言ってから、1年生の靴箱にまで歩いていくという、くすつとしてしまう微笑ましい子どもたちもいました。着任式では、教職員の自己紹介に、「おー」や「へえーそうなんだ」と素直な反応で、温かく話を聞いていました。新しい出会いにわくわくしているようでした。

今年度は、1年生17名、転入生4名を迎え、児童130名、教職員27名でスタートします。「3ピース 自分・友達・学校を幸せにする」「幸せは自分たちでつくる」を合言葉に、笑顔があふれる学校をつくっていきたいと思います。子どもたちは将来、変化の激しい社会を生きていきます。希望に満ちた未来がどこからかやって来る時代はもう終わってしまいました。未来は自分たちでつくっていくしかないのです。学校では、「自分たちでつくっていく力」を身につける学びを行っていきたくて考えています。そのためには、「できない」「無理だ」と言わず、まず行動してみてほしいのです。思い立ったらすぐに行動し、行動したらすぐに振り返ります。そして、自分の行動に「よくやった!」「すばらしい!」と自分で自分をほめてほしいのです。振り返る時には、他と比べることなく、行動したことやできたことを認めることが大事です。そのことで、自己肯定感が高まり、やる気が育ちます。もちろん、教職員も子どもたちを褒めます。その子に合った言葉で褒められるように。そこは教職員の腕の見せどころです。

もう少し具体的な話をしていきたいと思います。虹ヶ丘小学校では学校の特色を生かした教育活動を行うために「にじいろプラン」を作成しています。「にじいろ」には、「子どもたちを大切にする」という思いが込められています。子どもたちは一人一人異なります。その違いを生かし、かかわりの中で、自分らしさを発揮できるような子どもたちに育てたいのです。さて、「かかわり」といっても、虹ヶ丘小学校は単級であり、1クラスの人数が少ないです。1年生からずっと同じクラスです。高学年にもなれば、誰がどのような考え方をするか、何が得意で、苦手かを理解しています。それはよいことです。だから、安心して過ごすことができ、互いに助け合うことができるのです。さらにかかわりを増やすにはどうしたらよいかと考えました。昨年度からの継続で、たくさんのゲストティーチャーをお招きしたいと思っています。教えていただくだけでなく、学習に参加していただき、子どもたちと考えの交流をしたり、子どもたちが自分たちの考えを伝えたり紹介したりする学習活動ができるよう計画しています。また、近隣の小学校や他校との学習交流もできたらいいなと思っています。新しい風が吹き、子どもたちのやる気が増して、前向きになっていくのではないのでしょうか。

先日、読売新聞に、「新小学1年生 不安ですか?」という見出しの記事がありました。そこには、「親子で仲良く意思疎通 子の心配 親は聞き役に」とサブタイトルがついています。「子どもが不安を口にしたときは、質問をしたり助言をしたりせず聞き役に徹する。ネガティブな気持ちは、人に話して共感してもらおうと小さくなる傾向がある。『それは大変だったね』などと声をかけながら聞いてあげて」と書かれていました。その通りです。大人でも、ネガティブな気持ちを聞いて受け止めてくれる人が身近にいたら、どんなに心が落ち着くか。子どもならなおさらです。保護者の方が不安に思うことがあれば、どうぞ学校職員に話をしてください。お子さんの健やかな成長には、家庭と学校との協力が必要です。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。